

校長室だより  
NO. 11  
平成30年5月29日

# すべては光る

梅園小学校長  
たか すりょうへい  
高 須 亮 平

## 「チャレンジ」あふれる大運動会 これを「夢への一歩」へ

万緑の中、5月26日（土）、本年度の大運動会を成功裡に終えることができました。その中では、子どもたちが、それぞれの「チャレンジ」を発揮する姿を見せてくれたことに大きな成果を感じました。天候は曇天ではありましたが暑すぎることなく、さわやかな雰囲気の中で、力一杯の競技、演技、応援を学習の発表として行うことができました。その背景には、保護者の皆様、学区の皆様にも多大なるご理解とご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

本年度の大運動会のテーマは「わたしのチャレンジ ゆめへの一歩」として、子どもたち一人一人の「チャレンジ」をする姿の発揮を目指しました。「チャレンジ」とは「挑戦」です。「挑戦」とは「戦いを挑む」ことで、もちろん学級対抗となりますので他学級に挑むこととなりますが、自分自身の目標を高く掲げることで、自分自身に挑む意味にもなっていました。そのことを都築宥君（6年4組）、服部沙紀さん（6年3組）が、次のように選手宣誓の中で表現していました。そして、至る所に子どもたちが「チャレンジ」をする姿が見られました。

宣誓 今年の大運動会のテーマは「わたしのチャレンジ ゆめへの一歩」 私たちはこのテーマを合言葉に、一人一人がチャレンジする目標を立てて練習をしてきました。 行進やリレーではより速く、演技ではより美しく力強く、応援では全校一の応援を目指してチャレンジし続けてきました。 今日、目標に向けて一歩一歩歩んできた自信を胸に、精一杯競技、演技、応援することを誓います。



堂々とした入場行進(6年)



思いを込めた選手宣誓

その「チャレンジ」とは、まず開会式での全校の子どもたちの堂々とした行進であったり、準備体操での1つ1つの動きの趣旨を理解した運動であったりしました。

また、3年から6年までの学級対抗リレーのバトンパスも「チャレンジ」する姿そのものでした。観覧されたどなたも感じられたと思いますが、学年が上に進むにつれて、バトンパスが上手くスムーズになされていました。特に、6年生のバトンパスは、バトンをもらう子どもがトップスピードでもらえるような配慮が考えられています。子どもたちは学級で話し合い、何度も何度も放課



息の合った見事なバトンパス(6年)

などで練習を重ねました。その結果、その学級・学年らしいバトンパスを創り上げていったのです。本年度は、3年生のバトンパスへの意識が高く、また3年前から取り組んできた成果も発揮され、レベルの高いバトンパスが見られました。

各学年のリズム表現運動・組立体操も工夫を凝らしたり、新たな演技を取り入れたりするなど、まさに「チャレンジ」にふさわしい演技となっていました。リズムに楽しく乗って笑顔で表現をすることができた1・2年生、バトンの動きとともに隊形移動をダイナミックに表現した3・4年生、集団が交錯しながら行進するという新しい集団行動の演技を加えた5・6年生。それぞれ学年らしさが発揮されていました。中でも、2年生の表現は、曲のテンポ（拍子）に合わせた手や足の動きが、バラエティに富んで考えられていました。そして、自信满满に楽しく演技をする2年生の子どもらしさが伝わってくる見事なものでした。

さらに、全男「帽子取り・騎馬戦・くす玉割り」、全女「竹取」の演技も「チャレンジ」にこだわって実施されました。両者ともに子どもたちの熱気にあふれる姿を感じていただけたと思います。全男の演技については、これまでの反省を生かし、演技の趣旨を確認した上で子どもたちの思いを表現できるように考えました。例えば、入場では子どもたちの熱い思いが伝えられるように行進したり、帽子取りの場面では正面から1対1で対戦できるようにしました。特に、帽子取りは、これまで集団で逃げ回るかのようにして帽子を取り合っていたものを大きく見直しました。もちろん正面から対戦すると、これまで以上のリスクが伴うことが心配されました。しかし、そのリスクを予測し回避する取り決めをきちんと守らせることによって、大きなけがは1つも起こることはありませんでした。逆に、これまで逃げてばかりで、自分のことしか考えられなかった子どもたちが、多くの場面で、仲間と力を合わせて果敢に攻め合う姿を見せてくれました。これは、何ともうれしい姿でした。今の子どももやればできるのあり、昔とは何も変わらないのです。

このような子どもたちが、大運動会で見せてくれた一人一人の「チャレンジ」は、とても価値の高いものととらえています。この「チャレンジ」の成果は、これからの子どもたちの学校生活に成功体験の1つとして生かしていきたいものと思います。そして、そのことは、今後の子どもたちの将来への「ゆめへの一歩」としてつながっていくことでしょう。そう信じて、梅園小学校の教育に当たっていきたいと思います。



笑顔いっぱいの動きのリズム表現(1年)



技の精度にこだわった組立体操(5・6年)



最後まであきらめずがんばる竹取



熱い思いを表現する騎馬戦